



安方中だより

令和6年3月4日 第10号

大田区立安方中学校

「思い出のアルバム」

校長 佐藤 彰

この時期、幼稚園や保育園から卒園式の案内状が届くようになります。卒園式といえば、以前、小学1年生が作った詩を目にし、とても印象に残りました。

「ようちえん にゆうえんしきでぼくがなき
そつえんしきで ママがなく」

子どもの豊かな感受性と、親のことをよく見ていることに感心するとともに、自分の成長と親の愛を見事に表現している詩だと思います。

幼稚園や保育園の卒園式で多くのママやパパを泣かせてきたのが、表題の「思い出のアルバム」という歌です。

「いつのことだか おもいだしてごらん ♪
あんなこと こんなこと あったでしょう ♪
うれしかったこと おもしろかったこと ♪
いつになっても わすれない ♪」

口を目いっぱい広げて歌うわが子の成長と自らの子育ての苦労が重なり、涙が止まらなかったという保護者の皆さまも多いのではないのでしょうか。

必死で自転車をこいで子どもを園に預け、急いで職場に向かい仕事をこなし、夕方は仕事を片付けて（片付かなくても・・・）お迎えに駆け付ける。そんな日々を思い出すと、大変だったと思う反面、楽しくもあったなと懐かしさもこみ上げてきます。あの頃はきつかったけど、日々成長していく我が子と関わって幸せだったと思う方も多いのではないのでしょうか。

この歌の作詞は、クリスチャンで墨田区の保育園の園長をしていた増田としさん、作曲は常楽寺というお寺の住職で幼稚園も運営していた本多鉄磨さんです。信仰の異なる2人が出会い、子どもの門出を祝う歌が作りたいという思いが結実して、1957年に完成しました。その後、NHKの「みんなのうた」で放送されて全国に広まり、幼稚園や保育園の、実に9割の卒園式で歌われるようになったそうです。

この歌は7番まであり、園の1年間を回想しています。春・夏・秋を歌うのは1回ですが、冬の回想だけ2回歌われます。これは、クリスマス行事を行う園としない園があることに配慮して、いずれかを選べるようにしてあるそうです。歌には、次代を担う子どもたちへの深い愛情があふれ、様々な立場や信条をもつ人たちへのこまやかな配慮もされています。そんな思いが込められている歌だからこそ、聴く大人の胸にもせまるものがあるのだと思っています。

令和6年3月19日。多くの保護者が泣いた卒園式から9年が経ち、3年生は義務教育最後の日を迎えます。数多くの泣き笑いや喜怒哀楽を重ねて迎える、新たな旅立ちの日です。



【思い出のアルバムの碑】

保護者の皆さまにとっても、お子さんが9年間の義務教育を終えることや、15年間無事に育て上げてこられたことを思う時、感慨は言葉に尽くせないことと思います。親にとっては、15年前はついこの間のことです。

3年生、126名それぞれに思い出のアルバムがあり、そこに刻まれた成長の足跡は126とおりの未来へと続きます。同様に、親にとっても我が子との思い出のアルバムは胸中に大切にしまわれていて、生涯色褪せることはありません。

卒業式で歌う歌は「友～旅立ちの時～」ですが、胸に刻まれた思い出のアルバムを心をこめてめぐりながら歌い、聴いてほしいと願っています。

「表彰」おめでとう！

【ものづくり教育・学習フォーラム】

中村 由槻さん 藤代 彩世さん 津藤 萌那さん
山野 燈彌さん 高橋 知華さん 高田 海優さん



【卓球部】

- 令和5年度大田区卓球連盟主催選手権大会
中学女子 『優勝』 杉田 和香さん
- 令和5年度大田区中学校卓球冬季大会
女子個人 『優勝』 杉田 和香さん
男子個人 『準優勝』 稲 泰我さん



【剣道部】

- 令和5年度大田区中学校剣道新人大会
2年女子個人 『優勝』 山内 彩乃さん
2年男子個人 『第3位』 成田 優作さん
1年男子個人 『優勝』 笠間 空さん
『第3位』 中林 文矢さん
『敢闘賞』 梅田 和穂さん



【バドミントン部】

- 令和5年度大田区総合選手権バドミントン大会
女子シングルス 『優勝』 中川 夏来さん
- 令和5年度大田区中学校バドミントン1年生大会
女子ダブルス 『優勝』 本田 実果さん
本田 菜愛さん
女子シングルス 『第3位』 櫻井ここみさん
佐久間陽里さん



【吹奏楽部】

- 第57回東京都中学校アンサンブルコンテスト
『金賞』

